

集会アピール(案)

「国際反戦デー」は、1966年10月21日にアメリカの北ベトナムへの爆撃中止を求め、「反戦」を全世界に呼びかけたことに始まり、今年で47回目を迎えました。

今年は「9・11事件」と米国等によるアフガニスタン攻撃から11年目にあたります。オバマ大統領は、2014年末のアフガニスタン撤退後も米軍の一部を残すとしています。泥沼化したアフガン戦争で、これ以上の市民の犠牲を出さないため、速やかな米軍のアフガニスタンからの完全撤退を求めていかなければなりません。

今年は沖縄が米軍事占領化から日本に「復帰」して40年を迎えました。しかし、日本のわずか0.6%の国土に74%の米軍基地が集中し、基地負担にあえぐ変わらない沖縄の現実があります。とりわけ、「世界一危険な普天間基地」に欠陥機「オスプレイ」が強行配備され、「ヘリモードでの飛行は原則基地内に限る」とした日米の運用ルールさえ守られていません。また、政府は、武器輸出三原則を緩和し、集団的自衛権の解釈見直しを目論むなど、事実上の9条改悪の動きは断固阻止しなければなりません。

福島原発事故はいまだ収束の目途が立たず、放射能汚染が地球規模ですすんでいます。また、多くの住民が長期の避難生活を強いられ、見えない放射能に対する生活や健康不安に悩まされています。

政府は、「2030年代に原発ゼロ」「新增設はしない」と決定しました。しかし、当面は原発を「再稼働」し、「核燃料サイクル」を継続、大間原発の建設を再開するなど矛盾したものとなっています。泊原発では、「日本海から陸地にかけての166^{km}の活断層」などによる地震・津波の影響が懸念され、「再稼働」は断じて認められません。

私たちは、核も戦争もない未来と世界をめざします。武力で平和はつくれません。原子力の平和利用も認められません。

辺野古新基地建設・オスプレイの沖縄配備を許さず、アフガン戦争など世界中のあらゆる戦争をやめさせるため、9条をはじめとする平和憲法の理念を世界に広く発信し、護憲、反戦・平和、反核・脱原発の運動を大きく前進させましょう。

2012年10月19日

武力で平和はつくれない!!「10.21 国際反戦デー」北海道集会